

◎ 山形県中小企業青年中央会

県内企業の太宗を占める中小企業は、本県経済を活性化する原動力であり中小企業が新たな取組みに果敢に挑戦し、企業力を高めていくことが本県産業の元気再生に結びつくことを認識している。県中央会会員の方々は、本県経済を牽引していただいております、中でも県中小企業青年中央会会員の方々は、これからの本県経済を牽引する中核的な役割を担う貴重な人材ということで非常に期待をしています。そして、こうした青年中央会会員を中心とした企業の若手の方々が、業界を越えた交流を図っていくことにより、企業を越えた多様な連携が図られ高い付加価値を生み出す産業の構築につながっていくものと考えています。来年度は、全国中小企業青年中央会の通常総会が本県で開催されるということで、全国のやる気に満ちあふれた企業の若手達がこの山形の地に集い、交流し、その中から新たな連携が生まれることを楽しみにしています。要望にあった、県産品ブースの設置・PRやつや姫などの県産品の提供については、県内外から大会に参加する方々に県産品の魅力を発信する絶好の機会となるため、県としても積極的に支援をさせていただきたいと考えています。当日は、日程調整がつけば私も出席させていただき、開催が6月とのことなので、全国から来る方々に、全国一の生産量を誇る「さくらんぼ」やブランド米「つや姫」をはじめとした本県の食の魅力などを積極的にアピールしていきたいと考えているので、共に総会を成功させていきたい。



◎ 山形県自動車車体整備協同組合青年部会

要望にあった「車体整備技術者の育成支援」については、自動車関連の職業訓練を行っている県立職業能力開発施設として、山形職業能力開発専門校がある。これまでは、関係業界から車体整備訓練に係る要望がなかったこともあり、専門校には塗装訓練用のブースを設置しておらず、指導できる教官もいなかった。さらに、2年間の普通課程では2級整備士資格を取得することが精一杯であり、車体整備の訓練にまわせる時間がほとんどなく、訓練教科に追加して設定することは極めて困難な状況にある。しかし、車体整備（板金・塗装）の経験もあった方がよいと考えていたため、卒業前の2年生を対象に、4日間の訓練を実施しているところである。訓練の内容としては、指導できる外部講師に依頼をし、自動車のドア1枚分の修理を体験するために、簡易な板金と塗装の訓練ではあるが、32時間実施しているところである。

今後については、本校の自動車科（自動車整備）に対する地元企業の評価が非常に高いと考えており、就職率も100%を維持しているため、引き続き、高い技術レベルを有する自動車整備士の養成に努め、卒業時に2級整備士の資格を取得できるよう努めていきたい。現在実施している4日間の車体整備体験も重要な訓練であると考えているため、今後とも継続して実施する予定である。

なお、酒田市に設置している県立庄内職業能力開発センターでは、塗装訓練用の実習室があるため、地元の業界団体が実施する車体塗装の実技研修に対しては、訓練会場として提供しており、業界団体への支援を継続していく。

◎ 山形麺類食堂協同組合青年会

今年度は日本橋三越で開催した山形フェスや名鉄百貨店で開催した観光物産展などで山形そばの提供を行った。こうしたイベントでは、貴組合との連携が効果的であるため、今後とも事業の実施にあたり声掛けを実施していきたい。また毎年6月に「日本一さくらんぼ祭り」を開催しているがイベントでは約12万8千人の来場があり、今年は特に流しさくらんぼが人気であった。来年度は、「流しそば」という形で行えば、小さい子供にも人気が出るのではないかと考えている。要望のあった観光物産展における「そば試食会」については、会場となる百貨店側とも協議し、実現されるよう努めてまいりたい。